

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 ソレキア株式会社
 コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	9,765	11.6	93	126.7	122	57.0	54	789.1
25年3月期第2四半期	8,747	△5.2	41	—	77	—	6	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 57百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △7百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.82	—
25年3月期第2四半期	0.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,993	5,611	46.8
25年3月期	12,236	5,720	46.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,611百万円 25年3月期 5,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	5.9	255	△1.1	255	△19.7	130	△39.2	13.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,169,610 株	25年3月期	10,169,610 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,475,851 株	25年3月期	724,638 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	9,337,119 株	25年3月期2Q	9,446,194 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しを背景に業況は改善し、政府判断も「景気は緩やかに回復しつつある。」としておりますが、一方では為替や株価に一服感が見られ、アジア向けを中心に輸出が減速している他、米国の金融・財政政策や新興国経済も先行きが不透明であるなど、下振れリスクが懸念される状況が続いております。

企業のICT投資につきましても、スマートフォン、タブレット端末などの市場拡大や社会の省エネルギー化・スマート化の進展を始め、消費増税前の駆け込み需要や公共投資の拡大などの追い風はあるものの、製造業を中心に企業の景況感の先行きに天井感も見える中で、投資に慎重な姿勢を継続しており、本格的な回復の動きには至っておりません。

このような経営環境のもと、お客様のニーズが多様化し、ワークスタイルが変化していく中で、事業モデルの変化や新ビジネスの領域拡大に対応すべく、クラウド、モバイルを始めとする新しいICTの潮流に向けた各分野でのイノベーションの促進に取り組むなど、受注拡大への取り組みの強化を図りました。この結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、組込み用サーバ・パソコンや保守サービスなどの売上が増加し、97億65百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

損益面につきましては、サーバ・パソコン、フィールドサービスの売上増加やシステムソリューション部門での外注費削減による効率改善の効果により、営業利益は93百万円（前年同期比126.7%増）となり、経常利益1億22百万円（前年同期比57.0%増）、四半期純利益54百万円（前年同期比789.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、組込みサーバ・パソコン、保守サービス、新規半導体の売上が増加し、売上高は54億43百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加、SE部門の損益改善により前年同期から大幅に改善し、営業利益21百万円（前年同期は88百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、業務用サーバ、ソフトウェアやシステム開発が増加し、売上高は22億32百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

損益面につきましては、売上高の増加とフィールドサービスの稼働が向上したことにより営業利益1億11百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

「西日本」は、電子デバイスは減収となりましたが、官公庁向けのサーバ・パソコンが伸長し、またソリューションサービスも増加し、売上高は19億94百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

損益面につきましては、価格競争の厳しさから原価率が悪化したことと販売費及び一般管理費が増加したため、営業利益79百万円（前年同期比17.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億42百万円減少し、119億93百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億50百万円、電子記録債権が1億51百万円減少するなど、流動資産が3億80百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億34百万円減少し、63億82百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が1億19百万円、賞与引当金が42百万円、退職給付引当金が35百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億8百万円減少し、56億11百万円となりました。その主な要因は、自己株式の取得などによる株主資本の減少1億11百万円などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3億50百万円減少し、36億36百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は11百万円（前年同期は3億76百万円の増加）となりました。その主な要因は、売上債権の減少額1億9百万円、仕入債務の増加額2億28百万円などによる資金の増加があった一方、たな卸資産の増加額1億11百万円、法人税等の支払額1億31百万円、賞与引当金の減少額42百万円、退職給付引当金の減少額35百万円、役員賞与引当金の減少額20百万円などによる資金の減少となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1億75百万円（前年同期は30百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出1億50百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、1億66百万円（前年同期は38百万円の減少）となりました。この主な要因は、自己株式の取得による支出1億9百万円、配当金の支払額56百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、業績は概ね見込みどおりに推移しており、平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,987,543	3,636,886
受取手形及び売掛金	4,487,868	4,532,566
電子記録債権	210,585	58,922
商品	707,807	761,542
仕掛品	90,800	149,539
その他	290,714	253,903
貸倒引当金	△2,872	△1,535
流動資産合計	9,772,447	9,391,826
固定資産		
有形固定資産	784,827	919,496
無形固定資産	220,195	217,794
投資その他の資産		
投資有価証券	329,890	369,427
敷金及び保証金	556,150	555,678
繰延税金資産	491,966	459,197
その他	84,679	84,691
貸倒引当金	△3,550	△4,360
投資その他の資産合計	1,459,136	1,464,634
固定資産合計	2,464,159	2,601,925
資産合計	12,236,606	11,993,751
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,609,235	2,839,517
短期借入金	1,080,000	1,080,000
未払法人税等	148,165	28,278
賞与引当金	369,200	327,200
役員賞与引当金	20,000	-
受注損失引当金	5,330	6,353
その他	790,097	656,190
流動負債合計	5,022,028	4,937,539
固定負債		
退職給付引当金	1,328,008	1,292,094
役員退職慰労引当金	104,782	90,494
資産除去債務	61,576	62,038
固定負債合計	1,494,367	1,444,627
負債合計	6,516,396	6,382,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,610	2,359,610
利益剰余金	1,181,323	1,179,019
自己株式	△137,482	△247,168
株主資本合計	5,696,458	5,584,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,615	44,334
為替換算調整勘定	△16,863	△17,218
その他の包括利益累計額合計	23,752	27,115
純資産合計	5,720,210	5,611,583
負債純資産合計	12,236,606	11,993,751

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	8,747,815	9,765,968
売上原価	7,124,549	8,016,929
売上総利益	1,623,266	1,749,039
販売費及び一般管理費	1,582,050	1,655,584
営業利益	41,216	93,455
営業外収益		
受取配当金	4,923	5,025
保険戻戻金	32,417	7,736
助成金収入	-	7,576
その他	6,371	13,223
営業外収益合計	43,712	33,561
営業外費用		
支払利息	4,890	4,343
その他	2,273	575
営業外費用合計	7,163	4,919
経常利益	77,764	122,097
特別損失		
投資有価証券評価損	18,732	-
特別損失合計	18,732	-
税金等調整前四半期純利益	59,032	122,097
法人税、住民税及び事業税	19,180	13,180
法人税等調整額	33,737	54,552
法人税等合計	52,917	67,732
少数株主損益調整前四半期純利益	6,114	54,365
四半期純利益	6,114	54,365

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,114	54,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,120	3,718
為替換算調整勘定	581	△354
その他の包括利益合計	△13,538	3,363
四半期包括利益	△7,424	57,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,424	57,728

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	59,032	122,097
減価償却費	16,342	19,921
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,725	△527
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,300	△42,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△20,000
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△8,749	1,023
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19,616	△14,288
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△34,019	△35,913
受取利息及び受取配当金	△6,741	△6,510
支払利息	4,890	4,343
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,732	—
保険返戻金	△32,417	△7,736
売上債権の増減額 (△は増加)	895,691	109,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△343,981	△111,108
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,558	228,017
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△92,829	18,776
その他	△3,507	△146,487
小計	411,843	119,280
利息及び配当金の受取額	5,038	5,014
利息の支払額	△4,939	△3,998
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△35,906	△131,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,035	△11,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3,180	△36,080
投資有価証券の売却による収入	—	3,000
有形固定資産の取得による支出	△39,462	△150,257
ソフトウェアの取得による支出	△17,415	△884
保険積立金の払戻による収入	54,149	7,736
敷金及び保証金の差入による支出	△17,414	△688
敷金及び保証金の回収による収入	5,408	1,948
その他	△12,142	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,056	△175,475
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△109,500
自己株式の純増減額 (△は増加)	△305	△185
配当金の支払額	△37,789	△56,669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,095	△166,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	2,424
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	307,891	△350,656
現金及び現金同等物の期首残高	3,795,941	3,987,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,103,833	3,636,886

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,737,219	2,093,285	1,832,057	8,662,562	85,253	8,747,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,530	1,549	600	7,679	116,090	123,769
計	4,742,749	2,094,834	1,832,657	8,670,241	201,343	8,871,585
セグメント利益又は損失(△)	△88,576	88,342	96,976	96,742	△8,246	88,495

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	96,742
「その他」の区分の利益	△8,246
セグメント間取引消去	924
全社費用(注)	△48,204
四半期連結損益計算書の営業利益	41,216

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,443,255	2,232,061	1,994,479	9,669,797	96,171	9,765,968
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,576	1,451	600	8,627	128,354	136,981
計	5,449,832	2,233,512	1,995,079	9,678,425	224,525	9,902,950
セグメント利益又は損失(△)	21,787	111,370	79,857	213,014	△2,192	210,821

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	213,014
「その他」の区分の利益	△2,192
セグメント間取引消去	195
全社費用(注)	△117,562
四半期連結損益計算書の営業利益	93,455

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。